

2025 年 12 月 10 日

ニュースリリース

ブランディングテクノロジー株式会社

ブランディングテクノロジー、JAPAN AI との協業成果“第三弾”として「SEO 改善提案エージェント」を開発

独自診断基準と Google 検索品質評価ガイドラインを統合し、SEO 評価の標準化を実現

ブランディングテクノロジー株式会社（代表取締役社長：木村 裕紀、本社：東京都渋谷区、証券コード 7067、以下当社）は、株式会社ジーニー（代表取締役社長：工藤 智昭、本社：東京都新宿区、証券コード 6562）のグループ会社である JAPAN AI 株式会社（代表取締役社長：工藤 智昭、本社：東京都新宿区、以下、JAPAN AI）との資本業務提携に基づく共同開発プロジェクトの第三弾として、「SEO 改善提案エージェント」を開発したことをお知らせします。

The graphic is divided into two main sections. The left section has a blue background with the Branding Technology logo (a stylized 'B' made of two triangles) and the text 'Branding Technology' in white. Below this, in a white rounded rectangle, is the text 'デジタルマーケティング支援'. The right section has a white background with the GENIEE logo (a blue circle with a white dot) and the text 'JAPAN AI' in black. Below this, in a white rounded rectangle, is the text 'AIエージェント開発・提供'. A horizontal line connects the two sections. At the bottom, a dark grey banner contains the text 'AIエージェント共同開発プロジェクト“第三弾”' in light blue and '「SEO改善提案エージェント」を開発' in white.

AI エージェント共同開発プロジェクトの目的

当社は、中堅・中小企業様のデジタルシフトを伴走支援しています。一方、JAPAN AI は、最先端の生成 AI ソリューションで企業の DX・AX（AI トランスフォーメーション）を支援しています。両社が共通して見据えるのは、中堅・中小企業様が抱えるマーケティング課題です。予算やリソースが限られる中で、いかに効率的で確度の高い施策を実行するかは事業成長の鍵となります。

本プロジェクトは、当社の伴走支援ノウハウと JAPAN AI の AI 技術を掛け合わせ、デジタルマーケティング領域における「AI と人の協働」を推進し、お客様の成果を最大化することを目的としています。

「SEO 改善提案エージェント」開発の背景

本エージェントは、当社が蓄積してきた SEO 改善ノウハウを体系化した独自診断基準と、Google の最新検索品質評価ガイドラインを統合し、従来問題視されてきた“SEO 評価の属人化”を根本的に解消するための AI エージェントです。

検索アルゴリズムおよび検索品質評価基準の変化、多数チェック項目の管理コスト、担当者による判断のブレなど、構造的な課題を抱える企業が増える中で、本エージェントは評価基準の標準化と診断の自動化を通じて、より安定的で再現性のある SEO 改善を可能にします。

開発 AI エージェント紹介「SEO 改善提案エージェント」

本エージェントの主な特徴は、次の二つの基準を AI が統合して扱う点にあります。

当社独自の SEO 診断基準

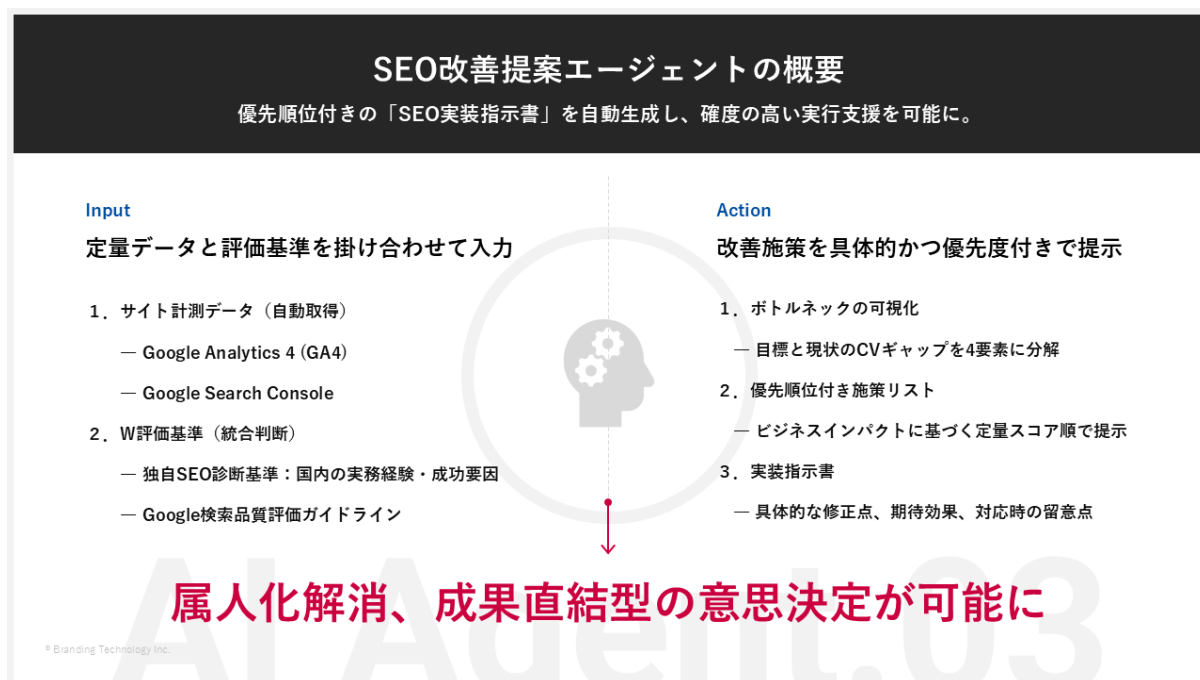
数千件に及ぶ改善支援の経験から導き出された、国内企業のサイト構造や運用環境にマッチした改善ロジックを体系化したもの。実務の成功要因に基づく改善項目を網羅し、即実行につながる実効性を担保します。

Google 検索品質評価ガイドライン（最新要件に対応）

Google が定める「検索ユーザーに価値ある情報を提供できているか」を多角的に評価する公式基準。ページの目的の適切性、コンテンツの信頼性、制作者情報、ユーザーの検索ニーズの充足度などを包括的に評価対象とし、長期的に評価されるサイト作りを支える指針として機能します。

これら 2 つの評価軸を AI が並列的に参照・評価することで、経験やスキルに依存せず、誰が診断しても同じ高水準の分析結果を得られる環境を実現しました。

さらに、GA4 や SearchConsole データを自動で取得して目標 CV と現状 CV の差分（CV ギャップ）を、セッション数・キーワード順位・CTR・CVR の 4 要素に分解します。そして、どの指標が成果のボトルネックになっているかを可視化し、改善施策は、ビジネスインパクトをもとに定量スコアで優先順位付けされ、企業が成果に直結しやすい施策を優先的に実行することが可能です。



改善提案は“実装指示書”という形式で出力され、必要な修正点、期待される効果、対応時の留意点などが明示されます。これにより、制作部門やマーケティング部門を問わず、現場での実装までスムーズに落とし込むことが出来るのです。

本リリースは、2025 年 10 月に発表した「広告運用改善 AI エージェント」、同年 11 月の「AIO/LLMO 改善 AI エージェント」に続く、当社 AI エージェントシリーズの第三弾です。今後も、SEO、広告、LPO、コンテンツ制作などデジタルマーケティングのあらゆる領域において、高度な業務自動化を進め、企業

の成果創出を包括的に支援してまいります。

本プロジェクト担当メッセージ



ブランディングテクノロジー DX推進室 室長
石井 大輔

SEO のマーケットは、チェック項目の増加とガイドライン改訂の頻度、そして評価者による解釈の差によって、結果が安定しづらいという構造的な課題を抱えてきました。

本エージェントは、当社が培ってきたノウハウと、Google が定める最新の品質基準を AI によって統合し、誰が使っても同じクオリティで分析できる体制を作ります。

SEO はもはや“テクニック”ではなく、“品質と一貫性”が問われる時代です。私たちは、AI の力でその基盤を提供し、企業の競争力強化に貢献してまいります。

今後の展開について

今回の「SEO 改善提案エージェント」で第三弾となりますが、今後もコンサルタントの専門知識を実装した AI エージェントを継続的に開発してまいります。これらフロント人材 × AI エージェントの連携をさらに強化し、デジタルマーケティング業務の在り方を根本から変革し、コンサルティングの精度とスピードを飛躍的に向上させます。この変革を通じて、お客様一社一社のビジネスに深く寄り添い、事業成果の最大化に貢献していく所存です。AI と人が協働する、次世代のマーケティング支援にご期待ください。

関連リンク：第一弾「広告運用改善 AI エージェント」リリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000237.000043647.html>

関連リンク：第二弾「広告運用改善 AI エージェント」リリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000239.000043647.html>

<JAPAN AI 株式会社について>

設立日：2023 年 4 月

資本金：2,000 万円

代表取締役社長：工藤 智昭

本社：東京都新宿区西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー5F・6F

公式サイト：<https://japan-ai.co.jp/>

<ブランディングテクノロジー株式会社について>

設立日：2001 年 8 月

資本金：52,260,800 円

証券コード：7067（東証グロース）

代表取締役社長：木村 裕紀

本社：東京都渋谷区南平台町 15-13 帝都渋谷ビル 4F・5F

公式サイト：<https://www.branding-t.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ブランディングテクノロジー株式会社 広報

松井 寛志

official@branding-t.co.jp